

船舶事故調査報告書

平成27年5月21日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 庄 司 邦 昭（部会長）
 委員 小須田 敏
 委員 根 本 美 奈

事故種類	同乗者負傷
発生日時	平成26年7月27日 14時23分ごろ
発生場所	香川県さぬき市脇元漁港東方沖 <small>わきもと</small> 脇元港沖防波堤灯台から真方位087° 2,600m付近 （概位 北緯34° 17.11′ 東経134° 18.34′）
事故調査の経過	平成26年9月25日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	水上オートバイ <small>エーケーワイ</small> AKY38、0.1トン 230-52060香川、個人所有 2.71m (Lr) × 1.07m × 0.43m、FRP ガソリン機関、132.40kW、平成23年3月
乗組員等に関する情報	船長 男性 36歳 特殊小型船舶操縦士 免許登録日 平成24年9月13日 免許証交付日 平成24年9月13日 （平成29年9月12日まで有効） 同乗者 女性 23歳
死傷者等	軽傷 1人（同乗者）
損傷	なし
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者1人を後部座席に乗せ、脇元漁港東方沖で遊走を開始した。 船長は、速力を約30km/hにして北進中、平成26年7月27日14時23分ごろ、仲間の水上オートバイの航走波を右舷側から受け、本船が左舷側に横転し、同乗者と共に落水した。 同乗者は、船長の親族が操縦する水上オートバイで海岸まで運ばれ、船長が要請した救急車により病院に搬送され、右季肋部肋軟骨骨折と診断された。 （付図1 事故発生場所概略図 参照）
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西北西、風力 3、視界 良好 海象：潮汐 下げ潮の末期
その他の事項	本船の定員は、3人であった。

	<p>船長は、本事故発生場所付近で遊走するのは、2回目であった。 船長及び同乗者は、救命胴衣を着用していた。</p>
<p>分析</p> <p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析</p>	<p>あり なし なし</p> <p>本船は、脇元漁港東方沖を北進中、仲間の水上オートバイの航走波を右舷側から受けたことから、左舷側に横転し、同乗者が落水して負傷したものと考えられるが、同乗者から情報が得られなかったため、負傷の状況を明らかにすることはできなかった。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が、脇元漁港東方沖を北進中、仲間の水上オートバイの航走波を右舷側から受けたため、左舷側に横転し、同乗者が落水したことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水上オートバイを操船する際は、波浪や航走波の状況に注意すること。

付図1 事故発生場所概略図

